

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 174

政策体系	41	事業分類	経常的事務費	所管部局	福祉部 健康課
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 1. 社会福 現年		
事業名	社会福祉協議会活動助成事業				
細事業名	社会福祉協議会活動助成事業				
評価表作成者				市民福祉部 社会福祉課	勝山 万里恵

1. 事業の概要

社会福祉活動推進のために地域住民の参加を援助することが大きな社会的使命の一つとなっている社会福祉協議会は、いわば地域住民に「顔の見える」存在であり、地域福祉の中心的な役割を担っており、かつ高度な専門的知識・技能が求められることから、専任職員の設置にかかる事業費相当額を助成した。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

社会福祉協議会は、地域福祉計画の遂行に全面的に支援・協力する立場にあり、職員はその中心的な役割を担っている。

② 事業を実施する必要性

地域福祉活動計画に基づいた地域福祉の推進や、福祉活動の活性化など、今後も行政と連携して取り組む必要がある。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	59,307	59,307	64,000	64,000	61,900	61,900	61,900
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	2,938	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	59,307	59,307	61,062	64,000	61,900	61,900	61,900
職員等の従事人員		人/年	—		0.13	0.07			
人件費		千円	—		1,016	554			
事業費総額		千円	—		65,016	64,554			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

社会福祉協議会運営費補助金 64,000,000円

5. 事業結果の概要

運営費補助金
 専任職員、専門員、ボランティアCo、支所長等17名分の人件費の86%相当額を補助

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

市では多くの事業を社会福祉協議会に委託しており、地域福祉推進のため、社会福祉協議会は重要な機関である。特に、その社会福祉協議会を運営していくためには専任職員体制は重要で、行政としても財政的な支援が必要である。今後、社会福祉協議会との連携を強化する一方、委託事業等の効果を再点検し、業務内容の精査を行っていく必要がある。また、補助の基準を明確化していく必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

地域福祉を推進する役割を担っている社会福祉協議会に対する支援のあり方について議論した。南丹市の地域福祉計画を推進するため、社会福祉協議会の専任職員体制は重要で、行政としての支援が必要である。今後、社会福祉協議会との連携を強化する中で地域福祉計画を推進することが必要である。

■平成21年度の所属長評価